

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	国民健康保険中央会施行経費等	事業開始年度	平成12年度	作成責任者		
担当部局庁	老健局	担当課室	介護保険計画課	古川 夏樹		
会計区分	一般会計	上位政策	介護保険制度の適切な運営等に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	介護保険法第41条第10項及び第176条等	関係する計画、通知等	介護保険事業補助金の国庫補助について (平成15年5月8日厚生労働省発老第0508001号 厚生労働事務次官通知)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	介護保険制度の円滑かつ安定的な運用を確保するため、介護報酬の審査支払等が円滑かつ適切に行われるよう、着実なシステム運用に努める。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	介護保険制度における介護報酬の審査支払等が、円滑かつ適切に行われるため、国民健康保険中央会において、 ①全国決済を可能とした統一的な仕様の介護保険審査支払等システムの構築及び運用等を行う。 ②通常の介護報酬の審査では検出困難な不正又は不適切な請求を容易に発見し、解消することを可能とする国保連合会介護給付適正化システムの構築及び運用等を行う。					
実施状況	<p>○審査支払等システム運用実績(平成20年度実績)</p> <p>介護保険審査支払等システムによる審査支払額 62,896億円 介護保険審査支払等システムによる審査支払件数 106百万件</p> <p>・介護保険制度においては、年間約1億件の介護報酬請求について審査を行い、約6兆円の支払を行っているところであり、引き続き介護報酬の審査支払等が円滑かつ適切に行われるよう、着実なシステム運営に努めていく。</p> <p>○適正化システムの運用実績(平成20年度実績)</p> <p>介護給付等の審査支払業務を通して保有する給付実績から、保険者等が主に介護費用面における適正化対策に活用するために、以下の情報提供を行う。 (47都道府県、1645保険者向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画一的なサービス提供、サービス提供の偏りを把握するためなどの給付実績を活用した情報。 ・介護給付と医療情報の整合性を確認する医療情報との突合情報。 ・複数月の明細書における算定回数の確認等のための縦覧点検情報。 ・通知内容どおりのサービス提供を受けたか等確認を促す介護給付費通知の発出にかかる情報。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	1,052	1,205	714	570	501
	執行額	1,052	1,205	714		
	執行率	100%	100%	100%(見込)		
	総事業費(執行ベース)	1,093	1,285	—		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	介護保険制度において、国民健康保険中央会は、制度施行当初から国保連合会の審査支払事務等に必要なシステム開発、運用、改修等を行っており、個々の国保連合会が独自に開発、改修を行うより、国民健康保険中央会において統一されたシステム運用を行うことにより、 ①全国統一基準に基づく公平な審査支払を行うことが可能となる ②開発・改修経費も安価になるため、各国保連合会を会員とした国民健康保険中央会に対して補助を行うことが適切かつ効率的である。				
	見直しの余地	平成22年度予算においては、システム運用に必要なシステムエンジニアの人数の合理化による実施体制の効率化及び事業実施に必要な予算単価の縮減等による実施方法の効率化などにより、平成21年度予算に比べて約1.4億円を削減を行ったところであるが、更なるコスト削減に向けた検討をしたい。				
予算チームの所見・効率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減) ・国民健康保険中央会施行経費等について、必要性を見直し、優先順位を付けるなどにより効率化を図ること。					
補記						

【平成20年度実績】

厚生労働省
1,205百万円



【補助】

A.国保中央会
1,205百万円

※平成20年度においては、介護報酬改定に伴うシステム改修を

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

A. 国保中央会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託料	介護保険審査支払等システム改修 (490百万円)	1,054			
	介護保険審査支払システム保守管理 費(299百万円)				
	介護給付適正化システム改修 (265百万円)				
交付金	国保連合会における適正化推進 事業交付金	85			
人件費	介護保険審査支払システム及び 適正化システム改修・運用に係る 費用	27			
使用料及び 賃借料	システム機器リース料、研修会会 場使用料等	14			
旅費	都道府県・国保連合会介護給付費適 正化システムリーダー研修会(194名) 介護保険業務検討会(16名)	11			
役務費	通信回線利用料	7			
需用費	介護保険システムインターフェース 仕様書印刷料 介護保険システム担当者説明用 資料作成費(250部×2) 介護給付適正化マニュアル印刷費 (10,900部)	7			
計		1,205	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額	費目	使 途	金 額
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額	費目	使 途	金 額
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額	費目	使 途	金 額
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)